

歯学部の森真理講師(高度先進保存学分野)が「JACP/JSPポスター賞 General/Clinical Research部門優秀ポスター賞」を受賞

森講師が、カナダ・バンクーバーで開催された第104回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2018年大会で、「JACP/JSPポスター賞 General/Clinical Research部門優秀ポスター賞」を受賞しました。研究発表の演題は、「The association of anti-phospholipid antibody with Behcet's disease.」です。5月24・25日(金・土)に横浜市で開催された第62回春季日本歯周病学会学術大会でその表彰式が行われました。



台湾で開催された国際シンポジウムで本学教員と大学院生が優秀発表賞を受賞

6月22・23日(土・日)、台北市において台湾血液材料学会国際シンポジウムが開催され、多くの国からさまざまな分野の研究者が参加して活発な討論が行われました。本シンポジウムでは若手研究者の発表に対する審査も行われ、本学のMd Riasat Hasan 助教(演題:Use of enamel matrix derivative to prevent ankylosis of tooth)と大学院歯学研究科2年のBayarchimeg Altankhishigさん(演題:Micro-tensile bond strength test of self-etching bond with fluoride-containing zinc and copper nanocomposite)がともに優秀発表賞(第2位)を受賞しました。



寺田裕歯科医師(北海道医療大学病院歯科部)が日本歯科保存学会優秀論文賞を受賞

寺田歯科医師が、日本歯科保存学会の機関誌である日本歯科保存学雑誌61巻2号に筆頭著者として掲載された論文「脂質異常症患者における残存歯数および重度歯周炎と頸動脈内中膜厚との関連性」が、2018年度の日本歯科保存学会歯周病学分野における年間最優秀論文として認められ、日本歯科保存学会優秀論文賞を受賞しました。6月27・28日(木・金)に金沢市で開催された日本歯科保存学会2019年度春季学術大会(第150回)でその表彰式が行われました。



EDITOR'S NOTE

時の流れは早いもので2019年も半分以上の月日が慌ただしく過ぎてしまいました。2019年の前半を振り返ると節目を迎えた出来事が2つありました。まず、北海道医療大学においては6つ目の学部である医療技術学部臨床検査学科を新設しました。また、5月1日(水)には新天皇が即位され、新たな元号である令和の時代が始まりました。「令和」は「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」という万葉集の梅花の歌の序からの出典で、初めて日本の古典から選ばれたことが話題となりました。

本学は薬学部の開設に始まり、昭和・平成・令和の3時代45年の歴史を歩み6学部9学科を有する医療系総合大学に発展してきました。これで4年後には毎年700名を超える卒業生を保健・医療・福祉の現場に輩出することになります。この編集後記を執筆するにあたり、東北以北で最大級の医療系総合大学に恥じないよう、学科・学部を越えた「令和」を大切に働いていきたいと改めて思いました。

(S-K記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.173

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
八木 こずえ 白石 淳 真島 理恵 澤田 篤史
児玉 壮志 下村 敦司 近藤 啓 高橋 祐輔
山形 摩紗 杉谷 昌彦 三川 清輝 小林 伶

発行日 ● 2019年9月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
TEL: 0133-22-2113
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail: nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。